

令和7年2月27日

新宿区長宛て

申請事業者 所在地 東京都荒川区東尾久
1丁目1番4号5階

(運営法人)

法人名 株式会社 大起エンゼルヘルプ

法人代表者

職名・氏名 代表取締役 小林 由緒



福祉サービス第三者評価受審結果に基づく改善取組計画書

下記のとおり改善課題および具体的な取組計画をまとめたので報告します。

記

1 受審事業所名

グループホームなごみ西落合

2 改善課題

①職員アンケート【6-4-2①】「食事作りの場面で利用者の能力を活かすよう心がけていますか?」という項目について、職員の認知度は前回よりアップしたものの、管理者は「ご入居者と一緒に家事をできる職員は限定的」との課題として認識しています。

②家族アンケート【問8】「介護計画の作成時、職員は要望を聞いてくれましたか?」の満足度は、高位ながらも前回からダウンしており、課題と捉えています。

③職員アンケート【3-3-2②】「地域の連絡会などの活動内容を理解していますか?」という項目について、認知度は前回よりも向上していますが低位を継続しており、管理者も「運営推進会議以外の地域関係機関のネットワークへの参加が行えていない」ということを背景に課題と捉えています。

3 具体的な取り組み

① 今年度、法人全体で「グループホーム誕生の背景から仕組みの基本まで」「グループホームにおける生活支援の基本から共同生活介護まで」といった内容の研修を全職員が受講しています。その研修での学びを活かして、これまでの支援の在り方を見つめ直し、入居者主体の支援の再構築に向けて取り組みます。

② 毎月ご家族に発信している「なごみ通信」や「緊急時や様子に変化がある時は電話をくれる」と、こちらからの発信はご家族の満足度のアップにつながっていますが、「ご入居者・ご家族の意向を汲み取る」ことが課題に繋がっていると思われますので、家族懇談会

での意見交換だけでなく、日々のやりとりの中でもご入居者・ご家族の意向を汲み取り、計画作成や日々の支援に反映させていきます。

- ③ 日々ご入居者と買物に出かけることで、地域との繋がりは少しずつでも保つことができていますが、事業所としての地域との繋がりが不足しておりますので、生産性向上の取組みの中で時間を生み出し、積極的に連絡会に参加するなど地域に目向けた活動に取り組んでいきます。

4 評価機関に対する感想

いつも、丁寧に見て下さり、忌憚のない客観的な意見を頂戴できるので、事業所の課題の振り返りとして大変助かっています。また、評価や課題分析だけでなく、管理者にメールを送って下さることも心強く感じています。

5 受審事業所からの意見等

前年度と同様の課題もいくつかありましたので、そちらも改善できるように努めて参ります。